

# かみふしの 議会だより

No. 57

平成20年  
2月10日

題字 上富良野中学校 書道部 3年 大森 瑞穂



山口県で開催された中学校全国駅伝大会のスタート直前！

## 主な記事

- 灯油高騰に生活支援..... 2 P
- 上中陸上部駅伝全国大会に77万2千円 ..... 3 P
- 第4次総合計画の検証と評価など6名の議員が町政を問う... 5 P
- 厚生文教常任委員会行政調査報告.....11 P

## 12月定例会

- もっと知りたいまちのこと No.2「ボランティア活動にズームアップ」... 14 P



## 燃料代の高騰が行政運営を圧迫！

**問** 今回の燃料費の補正については、年度末まで見込んでの補正なのか？

**答** 今回、施設燃料費で1千400万円、車輛燃料費で120万円、合わせて1千500万円ほどの補正であるが、このままていくと、まだ足りないと思われる。

平成19年度 各会計補正予算		
各 会 計	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	1,788万7千円	64億6,798万6千円
国民健康保険特別会計	553万7千円	14億5,813万3千円
介護保険特別会計	656万5千円	6億9,579万6千円
公共下水道特別会計	42万3千円	3億6,242万8千円
ラベンダーハイツ事業特別会計	10万0千円	2億8,396万4千円
病院事業会計	708万0千円	9億 683万4千円

## 条 例 改 正

国民健康保険税の納付が  
年金からの天引きに

「上富良野町国民健康保険条例の一部を改正する条例」

国民健康保険税が、満65歳から満75歳未満までの世帯主の方に対し、年金から天引きをする特別徴収を行うというものです。この制度は、4月1日より施行されます。

**問** 内容が非常に分かりづらい。実施時期を延期しても、住民に十分周知するべきでは。また、強制的に年金から天引きされることは、本人の意思を完全に無視したものであり、生活困窮者に対する配慮が出来ないのでは。

**答** 10月3日に交付され、期間も無かつたため、事前に周知が出来ていないが、2月広報により周知していきたい。改正の目的は、行政の事務を軽減すること、納税者の方の納入忘れや、納税の手間を省く利便性も合わせて改正される。

町立病院に循環器科の設置

「病院事業会計の一部を改正する条例」  
循環器科の創設により、隔週の金曜日、午後に予約診療を開始し、町民の利便性を図るため1月より施行します。

**問** 費用対効果はどうなっているのか？

**答** 医師の報酬とその他経費を差し引くと、純利益は、1回約4万円程度になります。

4意見書を関係省庁に提出しました

BSE全頭検査の実施に関する意見書  
灯油等石油製品の価格を引き下げるための緊急対策を求める意見書  
第二期地方分権改革にあたり地域間格差の解消を求める意見書  
森林環境税（仮称）の導入を求める意見書

臨時議会

11月6日

上富良野中学校が、また、快挙！

吹奏楽部に続き、陸上部が全道中学校駅伝大会で優勝に輝き、12月8日、山口県で開催される全国大会に出場するため、町の規定にもとづいて、負担金を支給するものです。  
負担額の内訳は、選手9名と引率者1名の旅費全額と宿泊費3泊分（1人あたり1万5千円）という内容です。

吹奏楽部の全国大会の規定を適用し、町が77万2千円を負担するものです。

# 平成18年度決算を認定！

## 10項目の審査意見を付す

特別委員会を設置し、  
集中審議

12月定例会で平成18年度の各会計（一般・特別）及び企業会計の決算を10項目にわたる審査意見を付して、いずれも認定しました。

平成18年度決算については、平成18年第6回臨時会において上程され、理事者の趣旨説明、監査委員の審査報告の後、直ちにそれぞれ決算特別委員会に付託されました。

このことを受けて、決算特別委員会（長谷川委員長）を設置し、11月15日、16日、19日の3日間、委員会を開催し、書類審査、質疑など集中審議を行いました。  
10項目の審査意見の内容は次のとおりです。

## 審査意見



審査報告をする長谷川委員長

各会計（一般・特別）

### 1 町税及び税外収入について

滞納額、収入未済額については、滞納者の状況分析に基づいた、きめ細やかな督促と納税相談を実施すると共に分納誓約書の活用、保証人制度の厳格な適用と悪質な滞納者には強制執行を含め、一層の解消に努められたい。不納欠損処分については、処分にかかる前に、十分な方策をはかり、対処されたい。

### 2 需用費について

経費削減に努め、特に燃料費については単価の是正を図り、節減に努められたい。

### 3 物品の購入について

物品の購入は町内業者を利用するよう進められたい。

### 4 委託業務について

指定管理者を含め、委託業務については、その内容をよく精査し、十分効果が高まるように努められたい。

### 5 防災について

自主防災組織の計画的な組織化と、その活動の促進に努められたい。

### 6 公共施設改修について

生活道路及び公共施設の改修促進に努められたい。

### 国民健康保険特別会計

短期保険証及び資格証明書の交付については、相談を受けながら対応を図られたい。

### 介護保険事業特別会計

在宅介護、介護予防を含め介護のあり方について、さらに改善を図るよう努められたい。

### 企業会計

#### （病院事業会計）

病院運営については、地域医療を守ると共に、経営意識を高め、企業の経済性を発揮し、さらに、町民に信頼される病院であるように努められたい。



村上議員

## 第4次総合計画の検証と評価を 概ね達成している。駅周辺、市街地整 備は第5次総合計画で引き継ぐ

**村上** 第4次総合計画の総仕  
上げにあたり、町長はこの計  
画のどの部分に一番力を入れ  
たのか。また、できなかった  
部分はあと1年で実現可能か。  
自己評価は何点くらいか。

**町長** 第4次総合計画では、  
「人」豊かな人のまち、「職」  
「活力ある産業のまち」、「住」  
住みよい快適なまち、「共」共  
に創るまち、この4つの柱を  
まちづくりの概念として413項  
目にわたる施策を行ってきた。  
この計画の大きな目標は、10  
年後（平成20年度末）の人口で、  
年間80人の若者定住を図るこ

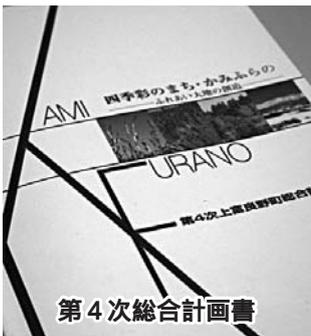
とで、1万2千500人を目標に  
していた。残念ながら、平成  
19年11月の時点で1万2千295  
人と目標人口を割り込んでい  
るが、人口の減少を最小限に  
食い止めることができたと思  
えている。また、町民が健康  
で安心して生活が送れる拠点  
として保健福祉センターを建  
設し、保健福祉の基盤整備を  
行えたことは大きな成果だと  
考えている。

**村上** 保健福祉センターの建  
設は、第4次総合計画策定に  
あたっての町民アンケートで  
一番の希望であり評価できる

が、活力のある産業のまちづ  
くりについては、あまりうま  
くいかなかったのでは。

**町長** 活力のある産業のまち  
づくりについては、十分対応  
できなかった部分もあると考  
える。基幹産業である農業で  
は、国の農政が大きく変化す  
る中、一自治体で対応できな  
い部分も多く、また、駅周辺、  
中心市街地整備については、  
第5次総合計画に先送りさせ  
ざるを得なかった。

**村上** 10年間で1つの計画で  
は長くないか。5年で前期、  
後期と分けては。また、第5  
次総合計画への引継ぎは。  
**町長** 第4次総合計画からそ  
の様な考えで取り組んでいる  
が、計画が20年、21年から実施  
するという計画になっている  
ので、今現在、まだ実施されて  
いないものもある。



## 小・中学校での部活動育成奨励に、 町として基金の積み立てを 早い時点で基金の活用を進めたい

**村上** 上富良野中学校吹  
奏楽部が東日本大会に出  
場、銀賞を受賞したのを  
はじめ、陸上部が全道中  
学駅伝大会で優勝、12月  
に全国大会出場。また、  
上富良野小学校スクール  
バンドも全道大会出場と、  
すばらしい活動が続いて  
いる。これら各小中学校  
へ部活育成として「子ほ  
め基金」を利用しては。  
子ほめ基金の趣旨が違う  
のであれば、内容の見直  
し、または新たな基金の  
積み立てを考えては。  
今後の部活動の励みと育  
成に繋がると考えるが、  
いかがか。

**教育長** 現在ある「子ほめ基  
金」の用途については、子ほめ  
の表彰だけでなくもう少し幅  
を広げた中で有効に活用でき  
ないかを考えていた。早い時  
点で寄付者の意向を確認し、



大会前の練習をする生徒

了承を得た上で子ほめ基金の  
活用を進めたいと考えている。

# 灯油高騰による福祉灯油事業の緊急実施を 道の補助と町の地域福祉基金により 対象者に1万円の商品券を支給する



援事業「補助」と併せ、福祉灯油事業を緊急に実施すべきと判断するが、次に伺いたい。



中村議員

**中村** 原油価格の高騰により、平成19年12月から、灯油・ガソリンの価格が大幅に値上がりするとともに、生活関連物資等の値上げが始まっており、寒冷地に住む町民には影響が大きく、特に低所得者、老人世帯、ひとり親家庭等の生活費への圧迫が目に見えているので、道が行う「高齢者等の冬の生活支

道は地域政策総合補助金の「高齢者等の冬の生活支援事業」の第3次申請受付を12月に行うとしているが、町としての考えは。

福祉灯油事業の実施予定があれば、事業実施内容及び対象別世帯数と申請受付等について伺いたい。

**町長** 原油価格の高騰については、議員ご発言のとおりの実態にあり、町としては、緊急事態として、道の補助や国の特別交付税についても可能な限り財政措置を受ける指示をするともに、町の地域福祉基金も財源と考え実施する。高齢者世帯、ひとり親世帯、障害者世帯の中で、低所得世帯を対象として、灯油などの燃料確保、あるいはその他の生活必需品の確保のために、該当一世帯あたり1万円の商工会商品券を支給する。

### 保健福祉課長

対象者世帯数については次のとおりである。申請受付は平成20年1月に行い、できるだけ早く商品券の交付を行う。

### 高齢者等に対する冬季生活支援事業

低所得者の範囲  
町民税非課税世帯で、前年の合計収入額（遺族年金等含む）の合計が次の額以内の世帯

1 一人暮らし老人世帯	930,000円
2 二人暮らし老人世帯	1,400,000円
3 ひとり親世帯（2人家族）	1,800,000円
4 障害者世帯（2人家族）	1,700,000円

対象者数（見込み） .....4,99人

区分	対象者	区分	対象者
世高齢者	独居（65歳以上）	障害者世帯	身体障害者1～3級
	夫婦等（65歳以上）		療育手帳所有者
ひとり親家庭	母子・父子世帯		精神保健福祉手帳
	233		71
	84		17
	88		6

## 附属機関委員の報酬を改正すべきでは 時期を見て改正への認識を持つている

**中村** 町には条例で定める附属機関と専門委員があり、各分野に町民参加による開かれた行政推進に向けて設置されている。その附属機関委員の報酬は、職務に従事する時間が4時間未満だと日額3千600円、4時間以上は日額6千200円である。

会議の時間は、職務上の特性もあり、一律にできない部分も承知しているが、ここ3

年間の会議時間の実態を見ると、最短会議は20分間で、報酬日額3千600円が支給されている。また、平成17年度から平成19年12月までの会議時間別に調査をしたところ、1時間未満が29%、1時間から2時間未満が52%、2時間から3時間未満が19%である。

例えば、1時間900円として、1時間ごとにした場合、平成18年度の実績と比較すれば、44万円の削減、1時間900円で最初は2時間、それを超える1時間ごとにした場合は38万円の削減になるが、報酬改正への見解を伺う。

### 町長

非常勤特別職の報酬は、有識者において本職に従事する時間を割くことに対する保証的な意味合いと、会議出席に対する報償と、また、労役提供に対する給与的な要素ももっているが、他市町村の実態もあり、時期を見計らい、改正への認識は持っている。



米 沢 議 員

## 老朽化が進む上富良野小学校の改築計画は 第5次総合計画の早い時期に調整する

**米沢** 老朽化してきている上富良野小学校の改築計画について、どのように位置づけしようとしているのか。

い時期に、改築の方向で位置づけするよう町部局との調整を進めている。

**教育長** 上富良野小学校

は、1線校舎が昭和35年、2線校舎が昭和36年、3線校舎が昭和46年に建築され、その後それぞれの校舎が改修されたが、年数もたち老朽化も著しく、改築又は改修が必要な時期に直面している。教育委員会としては、改築、改修に要する費用を比較した中で、平成21年度からの第5次総合計画の早



老朽化が進む上富良野小学校

## 高齢者・障害者に対する 福祉灯油の実施を

一世帯あたり一百万円の  
商品券で支援したい

**米沢** 灯油・ガソリンなどの価格が引き上がるなか、道は高齢者・障害者などが安心して暮らせるための対策として、灯油購入費の一部助成を決めたが、町における福祉灯油実施の対応について伺いたい。また、燃料費の値上がりで、町の財政負担も大変なものがあり、

会商品券で支援する。特別交付税の財政措置については、他の市町村や道の動向を見守りながら検討していきたい。

国や道に対してガソリン税率の引下げや特別交付税などの財政措置を求めることも必要では。

**町長** 原油高により生活関連

物資などの値上げも見られるので、町としては、高齢者世帯をはじめ、ひとり親世帯、障害者世帯のなかで低所得となる世帯を対象に、灯油などの燃料確保あるいは、生活必需品の確保のため、該当世帯1世帯当たり1万円を地元商工

## 福祉灯油の実施を

## 東2線と道々吹上線交差点に信号機を 今後とも早期実現に向けて要望する

今後とも早期実現に向けて要望する

**米沢** 道々吹上線と上富良野

高校前の東2線道路が交差する道路は交通量も多く、自動車等の事故も発生している危険な交差点である。また、子どもをはじめ、多くの住民の生活道路で、以前から信号機を設置を望む声が出ている。今後の対応について伺いたい。

**町長** 住民からも要望をいた

## その他の質問

- Q 道の町立病院再編計画は一方的なものと考えるが
- A 事前相談も無く一方的なものと思っている
- Q 高い保育料の引き下げを望む声があるが
- A 保育料を引き下げる考えはない
- Q 西小学校での放課後プラン事業の場所が狭いが
- A 関係者の方々と管理運営方法の協議を行い、放課後においても安全に遊べる場の確保に努力したい



金子 議員

## 地元雇用を守る制度の導入を

### 制度の範囲内で一層努力する

**金子** 道は平成19年7月に「季節労働者対策に関する取組方針」を策定し、季節労働者の

通年雇用促進に取り組むと共に、雇用機会確保に努めている状況にあるが、いくら通年雇用を促進しても肝心の仕事が地元でなければ、事業者も雇用をすることが出来ない。

今後、公共事業執行については、地元住民が多く雇用されている、地域貢献が高いなどを入札の条件に加味していく必要があると考えるが、いかがか。入札の透明性、競争性を重視して執行する事は当然の事だが、地元雇用を守り、地域の衰退を防ぐ為にも早速

にすべきでは。

**町長** 公共事業とそれに伴う入札制度について、これまで入札談合の他、国や市町村など発注機関が関係する不祥事が後を絶たず、公共工事の入札契約適正化法等が制定され、入札契約の透明性、競争性の確保について、強く求められている。

適正な入札の結果、地元業者が受注し、地域の経済や雇用の促進に結びつくことがベストと考え、指名競争入札においては、積極的に地元業者の指名に努めてきた。また、平成13年度より試行実施してきた予定価格の事前公表も、

試行を廃止するなど、この4月より公共工事の入札契約に關し一定の見直しを図った。

その中で、指名業者数を増やす努力を行うことで、競争性を発揮させ、地元業者にあつては、格付けに関係なく施工能力があると判断した場合、優先的に指名できるように指名基準を見直した。

今後も、制度の範囲内において、地元業者のなお一層の指名に努める。また、本年5月に設立した富良野広域通年雇用促進協議会における取り組みも含めて、公共工事に限らず、民間活力の導入など、行政活動のあらゆる面での工夫が必要と考えている。



年々減少する公共事業

## 高速回線早期誘致にむけ、町の取組みは誘致団体の賛助等、できる範囲で支援する

**金子** 民間の有志によって光ブロードバンドの誘致を図ろうとする動きが見られる中、早期誘致の観点から町も積極的にこれらの活動を後援する必要を感じるが。

**町長** 商工会青年部の呼びかけによって町内に光ファイバーによる高速通信回線サービスを誘致するための研修会が開かれたことは、承知している。町においても、広報誌や

役場内の町政情報提供コーナーにより、情報の開示と共有を進めている、町の行政ホームページでも電子情報として提供しており、多くの町民が高速のインターネット環境を活用していただきたいと願う。町としても誘致団体の賛助に加わるなど、誘致運動が具体化される経過において、できる限りの範囲で支援していきたい。

## 高輝度蛍光管の導入を

### コスト等比較し検討する

**金子** 社会教育総合センターアリーナなどに設置されている水銀灯を、消費電力が57%削減され、省エネルギー対応で明るさが高まる高輝度蛍光管への交換が望ましいと考えるが。

**教育長** 導入については、今後において更なる経費の削減を目指すために、高輝度蛍光管の特徴や、実際にわが町の施設に適合するかどうか、また、ランニングコストとインシャルコストとの比較などを調査し、検討を行なって行く。

# 児童生徒に対する インフルエンザ予防接種の支援を 国のインフルエンザ予防対策の 動向をみながら検討したい



渡部 議員

**渡部** この冬のインフルエンザの流行は例年より早く、11月から学級閉鎖が続いており、今後も流行の兆しがある。また、前年まで治療に使用されていたタミフル剤が児童には原則として使用できないことから、学級閉鎖等で児童の授業にも影響が出るのが予想される。特に北海道の子どもたちは、他府県の子供たちに比べ学力が低下していると言われており、さらなる低下が懸念される。また、接種料金も2回の接種で3千600円と負担が多いことから強制的な接種はむずかしいことだと思われる。町で支援をして全員の予防接種を考えては。

**町長** 児童のインフルエンザ予防接種については、昭和51

年から平成6年まで義務接種として実施されていたが、阻止効果が20%から30%と言われ明確な予防効果が不明という理由で中止になった経緯がある。

また、学力低下に関して、最小限の形で補い得るかという点については、教育委員会として、学校教育の中で対応していただいているものと考えている。いずれにしても国のインフルエンザ予防対策の動向を見ながら検討したい。



町立病院での予防接種の様子

## 土地改良に対する支援を

### 第6次農業振興計画で検討したい

**渡部** 国の大きな農業政策の転換により、特に大規模な畑作農家ほど、減収が多く不満を抱き、将来の農業に不安を持っている。現在の農業情勢では、個人での土地改良は厳しいのが実態である。ふらの農協が平成20年より2年間排水対策に助成措置を打ち出している。町としても

農協と協議しながら対応しては。

**町長** 心土破碎及び暗渠排水事業については、農業経営の安定を図るために重要であると認識している。町では平成3年より上富良野農協と連携のもと心土破碎事業を推進してきた。

農協合併後は、農協の独自施策として事業に取り組み成果を上げた事と考えている。今後は農協とも協議し、平成21年からの第6次農業振興計画において十分検討を重ねていきたい。

### その他の質問

- Q 肺炎の予防接種の奨励と高齢者に対する支援を
- A 医療機関との連携のもとで広報などを活用して進めたい
- また、支援については国の動向を見ながら研究を深めたい

# 北海道フットパス事業を前向きに進める考えは 関係団体との連携の中で考える必要がある



佐川議員



パノラマ大地のかみふらの

**佐川** 「フットパス」は素晴らしい景観に肌で触れながら地域の自然や歴史に想いを寄せ、歩く事で心と身体を癒す効果もあるという、イギリス発祥の歩く文化です。北海道の観光振興案でも、北海道フットパス事業の普及を進めるとしていますし、上富良野町の雄大な十勝岳と自然景観を存分に味わって頂き、訪れた方々にそのよさを広めて頂く事が、農産物や温泉、宿泊施設、美術館、博物館など観光資源の発掘や観光産業による経済効果も期待できるものと考えますが、今後の取り組みについて町長の考えを伺いたい。

**町長** 雄大な十勝岳連峰、自然に恵まれた肥沃な大地に広がる田園風景、また、画壇を代表する画伯の後藤純男美術館など文化芸術鑑賞の場や、観光資源として賑わいを見せているラベンダー園など、フットパスを形成するのに適した環境と資源に恵まれた地域であると私も認識している。今後は中心となる民間の方々の

動向に対して行政が後方からバックアップして、この事業を盛り上げていく事ができるのかの支援方法等も含め、関

## 行政組織機構を整え

### 環境保全対策の充実を

#### 現在の体制のまま

#### 早急に組織内の対応を図る

**佐川** 平成20年7月、地球環境問題を主要なテーマとして開催される北海道洞爺湖サミットは、地球温暖化防止対策をはじめとして、国民、道民ひとりひとりが環境保全に対する意識を高め、積極的に取り組む機会だと考える。

わが町も、このすばらしい自然環境を将来にわたり子供たちに貴重な財産として継承していくため、環境基本法・地球温暖化対策推進法にも示されているように、地方公共団体として基本理念や地域の自然・社会的条件に応じた環境保全や温暖化対策の施策を策定して実施し、環境保全対策推進班的

係団体との連携の中で考える必要があると感じている。

なものを設置する考えはないか伺いたい。

**町長** 4月から新組織体制を整え、環境保全については町民生活課生活環境班が事務を担うことになっているが、町の組織機構の中に事務分掌として含まれていない。その点については充分反省し、早急に事務処理ができるように対応していきたい。

また、議員が言われるように、将来ある子供たちのために、貴重な自然環境を守るべく地球温暖化対策に通じる環境保全を充分検討し、第5次総合計画の中に位置づけるよう努めていきたい。

# 厚生文教常任委員会先進市町村行政調査報告

平成19年10月22日から26日まで、  
先進市町村行政調査を実施しました。  
訪問先と研修のテーマは次のとおりです。

- 徳島県那賀町「ごみ焼却施設の運営状況」
- 岡山県倉敷市「学校での食育」
- 高知県佐川町「町立病院の運営」
- 高知県の町「町立病院の運営」
- 香川県綾川町「町立病院の運営」・「病児保育」



## 徳島県那賀町 丹生谷環境衛生センター

### ごみ焼却施設の運営状況

昭和46年に5町村で一部事務組合「丹生谷環境衛生組合」を設立し、共同処理を開始、平成7年12月に施設の老朽化と処理能力低下のため、清掃センターが竣工された。収集及び処理・処分は町の直営で、臨時職員2名を含む職員15名で業務を行っている。ダイオキシンについては、上富良野町と同様に5ナノグラムを指標として設計されたが、消石灰処理では測定値が安定せず、平成12年から活性炭を10%混入して処理し、安定した数値となった。

地域への対策としては周辺地域との協議によりゲートボール場、管理棟を建設、年間維持費5万円を補助している。

### まとめ

那賀町では、ごみ排出袋への氏名記載を実施しており、大きな効果をあげている。上富良野町も不適切な分別、指定日以外の排出もあるので、「我が家の

ごみは我が家が責任を持つ」として、減量化、適切な分別、資源ごみの有効活用を含め、ごみ指定袋への排出者氏名記載の実施は今後の検討課題である。

富良野地区環境衛生組合の中で、各々自治体の経過があつて施設の位置付けがされているが、将来を見据えた検討協議を進めなければならぬ。



## 岡山県倉敷市 葦高小学校

### 学校における食育について

葦高小学校の給食数は、1千56食、栄養教職員1名、栄養士1名、調理員6名により運営されている。給食の単価は、小学生240円、中学生278円で上富良野町と大差なく、献立作成にあたっては、必要な栄養素や食品の構成量を確保するだけでなく、

行事食、郷土食、選択給食などが行われていた。

市の食育推進計画では、学年ごとに学級活動や保健体育科、家庭科などの時間を利用して食に関する授業が行われたり、児童が農家の仕事を体験したり、給食で使う食材の下準備をする授業があつた。

### まとめ

上富良野町の学校給食は安心・安全、新鮮で美味しいと好評であり、地域的に地産地消の割合も非常に高い。今後は施設面の整備や体験型の食育も取り入れる必要がある。

しかし、学校給食は1日3食のうちの1食でしかなく、家庭での食育が重要である。給食だよりによる啓発や、生涯学習として親子で「食」について考えるような取り組み、幼稚園、保育所、学校、地域とともに行政も教育委員会、保健福祉課等の連携を深めて、全町的な立場で食育を推進すべきである。

現在町でも計画が進められているが、全町的に取り組む食育計画なので、策定内容に注目と期待をする。



## 高知県佐川町 高北国保病院

### 町立病院の運営

高北国保病院は平成15年度に町から巨額の長期借入れをして、それまでの資金ショートを解決させた。しかし赤字経営が続くようなら民営化すべきだとの声もあったため、病院改革委員会を設立し地域医療を守るため抜本的な見直しを図っていた。病院機能の位置付けを明確にするため、責任を明らかにした経営、適正な診療体制の確立、患者中心の医療及び権利の重視

住民の健康づくり、効果的な運営管理の徹底、経営の健全性回復と収支構造の改善を図り、「地域から信頼され、患者と病院職員の心のふれ合う患者中心の医療の実践」を行うようにした。また、大幅な人件費削減に向け、勸奨退職等の制度を利用し、経験年数の高い職員の早期退職を図っていた。

病院の廃止、民営化、診療所化にならないための策として、現在の病院の機能・体質・質の向上を目指して病棟、病室改変の計画を進め、今後は現在休床中である17床を小規模老健として設置する計画がされていた。

## 高知県の町 国保仁淀病院

### 町立病院の運営

現在、施設の老朽化（昭和47年新築）により、全面改築の計画が進められていたが、今ある45床の介護型療養病床については、明確な方向性は定まっていない。老健や特養施設への転換

は、採算性や設備投資等に問題点が多いと考えられ、現時点では医療型療養病床の設置を考えていたが、医療区分の低い患者が多くになると採算面で問題もあるため検討課題とされていた。

正面玄関には、自治体病院としての倫理綱領の使命と行動指針及び病院独自の理念が掲げられており、町・病院・地域住民の三者の強い信頼関係が築かれていた。また、町議会には仁淀病院運営特別委員会が設置されており、病院の健全経営のため、特別委員会委員・町長・院長・医長・看護師長・事務長などと常に論議を重ね、良好な経営体として運営を図るための調査研究が行われていた。



## 香川県綾川町 綾川町立陶病院

### 町立病院の運営

町村合併前の旧綾南町には国保病院と3診療所、総合病院、旧綾上町には13の病院・医院があり、近隣には香川大学付属病院もあるため、多額の繰入金にもかかわらず、巨額の累積赤字を抱えていた。また、老朽化、医師不足等により、廃院、診療所化または建替えの検討がされたが、平成11年に、病院の増収と質の向上を目指す改革と経営改善の方向性が検討された。平成16年には新築移転し、電子カルテを導入。町内の外来患者をいかに増やすかを基本に考え、診療時間、待ち時間の短縮、検査の充実等患者サービスの向上を図った。また、診療の受付時間を、平日は午後6時までに延長、また、土曜日12時30分までにするこで、外来が15%増となっていた。

また、医師の得意分野、専門性を活かせる診療科を設け、医師の継続的な確保も行われている

た。一方で訪問診療にも重点を置き、内科医4人が入院・外来診療の合間をみて積極的に対応していた。

病院の管理運営は組織化され、全職員が同じ方向性を見出せるよう努め、院内メールでその周知を図っていた。委員会の一つに、広報委員会があり、病院の理念、指針と共に診療部門の紹介等を掲載した広報誌を、町民向けに発行していた。

### ● 病児保育について

平成13年度から病児保育を開設、病院内に併設されている「病児保育室」で実施されている。対象乳幼児は保育所に入所している乳幼児と小学校低学年までの児童で、保育室、観察室、調理室が設置され、看護師と臨時保育士を配置している。利用時間は平日が午前8時から午後6時、土曜日は午前8時から12時30分、利用料金は1日2千円、半日1千円で食費、おやつ代は別。乳幼児等の受け入れは、当該施設の医師の判定によるが、平成18年度の病児保育室「うぐいす」の利用延べ人員は、町内

281人、町外109人の合計390人であった。



### まとめ

大幅な診療報酬の改定により、地方医療は非常に厳しいが、老人の人口が増加する中、そこで安心して暮らせるためにも地域医療の役割は重要である。病院の経営健全化と医療費の削減は相対するが、増大する社会保障費を縮小する事は自治体にとってもまた大きな課題である。

今後も自治体病院は「地域にとって必要とされる病院、信頼に込める事が出来る質の高い医療」を目指し続けながら日々の外来、入院患者の増加を図る努力が必要である。また、様々な

経費の見直しを行い、健全経営に向け努力を図り、医師、事務の判断による病院の経営方法がすぐに理事者側に伝わり経営される時代に突入しているため、「収支バランス均衡で良し」とするのではなく、自立できるような病院経営をすべきである。そのためには職員、理事者、議会も一丸となり、住民に対して病院の現況と今後のあるべき姿を伝えていく事が重要な責務となってくる。

さらには、病院での診察のみならず、医師を中心に行政も、「医療・福祉・介護の包括ケア」を行い、住民の安心できる生活に向けて病院を強化することも必要である。

町立病院は、「かかりつけ医」の医療機関として地域にとって大切な病院であることを住民に啓蒙し、「医療の質と高さ」を持つ旭川医科大学病院、富良野協会病院との病病連携がされていることなど、情報を発信し、「愛される病院」づくりをすることが最も必要である。

調査した3病院とも、町長、町議会、病院とが適切な情報の

提供と交換を行う密接な関係が築かれ、大きな信頼の上に病院運営がなされていた。

上富良野町立病院職員の接遇・対応について、患者から適切を欠くという声が聞かれるので、「理念・使命・指針」の策定をすみやかにを行い、職員の研修と意識改革の徹底を要する。

町立病院を今後も維持していくためには、町民の皆様の理解をいただき、患者の目線に立った診察と職員心のこもった接遇、待ち時間の短縮への施策を行うべきである。



# もっと知りたい まちのこと

No.2

ボランティア活動に  
ズームアップ

少子高齢化時代の到来で核家族やひとり暮らし世帯が増加し、福祉の充実が望まれています。しかし、町財政は厳しくなる一方で、福祉予算は十分とはいえません。そのような中、町の福祉を支えているのが、団体、個人の皆さんによるボランティア活動です。

町には様々なボランティアグループがあり、活動をしています。今回の「もっと知りたい まちのこと」では福祉ボランティアの活動について調べてみました。

今回は紙面の関係で福祉に関する活動のみとなりましたが、観光、教育、文化、体育関係など、その他の活動については、次の機会に取上げていきたいと思えます。



中学生の除雪ボランティア

福祉ボランティアサークルの草分けである「あゆみ会」の代表、一宮孝子さんを訪ねました。

## 会の創立と名称の由来は？

**一宮** 公民館講座の婦人ボランティア育成講座を受講した40人で、講座の終了した昭和56年4月に創立しました。会の名称は、一歩一歩着実に歩む会にしようということで「あゆみ会」とつけました。

## これまでの活動で思い出に残ることは？

**一宮** 一番最初の活動で取上げた、寝たきり老人の入浴サービスの申し込みが、なかなか無く、高橋寅吉社会福祉協議会会長と自転車で町中を探し回ったことです。



独居老人の昼食会

## これまでの活動で困難だったことは？

**一宮** 特に困るようなことはありませんでしたが、奉仕の精神を貫き「助けていけば、助けられる」という無償の活動方針を変えなかったことぐらいでしょうか。

## ボランティア活動全般についてなにか

**一宮** ボランティア活動をするサークルが増えて福祉活動のすそが広がってきたことは、うれしく思っています。

## ボランティアセンター事務局(社会福祉協議会)から

福祉のまちづくりの一翼を担っていただいているボランティアの皆様の日ごろの活動には、心から感謝しています。

今後事務局としてボランティア体制の更なる強化に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様の一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## ボランティア活動をしている団体・個人の紹介（福祉関係のみ）

団体名・代表者名	会員数	活 動 内 容	備 考
赤 十 字 奉 仕 団 代 表 佐々木幸子	190	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会、施設ボランティア・デイサービス、お元気かい、募金 すくすく離乳食教室	昭和57年11月18日設立
あ ゆ み 会 代 表 一宮 孝子	60	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会、施設ボランティア・雑巾作り、老人ホーム慰問、募金	昭和56年4月8日設立
中 央 婦 人 会 代 表 竹谷 愛子	98	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会、施設ボランティア・デイサービス、お元気かい、募金 すくすく離乳食教室	昭和25年設立。一時休会后、昭和30年に再発足
き ら ら の 会 代 表 竹谷 愛子	20	独居老人昼食会	食生活改善推進委員会のメンバー
J A ふ れ あ い 会 代 表 中瀬 幸子	23	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会、デイサービス、お元気かい	ホームヘルパー2級取得者の会 平成10年4月1日設立
J A 女 性 部 代 表 菊地 梅乃	11	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会	J A ふうの上富良野女性部役員 昭和29年9月11日設立
老 人 ク ラ ブ 連 合 会 代 表 岡和田 繁	300	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会	昭和45年9月7日結成
民 生 児 童 委 員 協 議 会 代 表 丸田 武	32	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会	昭和23年12月1日設立
更 生 保 護 女 性 会 代 表 松浦 正子	46	独居老人昼食会、ふれあい広場、福祉大会、ケアハウス、お元気かい	平成2年4月11日設立
自 衛 隊 駐 屯 地 曹 友 会 代 表 山崎 一	240	老人福祉施設清掃、除雪、屋根の雪下し	平成元年4月1日設立
自 衛 隊 駐 屯 地 修 親 会 代 表 駐屯地司令		老人宅屋根の雪下し	役場・消防職員等と 合同で実施
隊 友 会 代 表 松本 章		災害ボランティア	
た ん ぼ ぼ の 会 代 表 久我みちこ	28	デイサービス、元気はつらつ塾	平成14年4月9日 NPO法人平成15年6月
上 富 良 野 高 等 学 校		老人宅屋根の雪下し	平成19年より活動
上 富 良 野 中 学 校 生 徒 会		〃	平成17年より活動
青 少 年 団 体 協 議 会		〃	平成17年より活動
サッポロビール(株)バイオ研究開発部 北海道原料研究センター		〃	平成16年より活動
佐 藤 大 輔 グ ル ー プ 代 表 佐藤 大輔		〃	平成16年より活動
テクノス北海道(株)上富良野営業所 代 表 鴻上 和彦		〃	平成18年より活動
手 話 サ ー ク ル 代 表 林 昭秀		行事における手話通訳	昭和59年4月1日設立
個 人 ボ ラ ン テ ィ ア	約150	町在宅福祉サービス（配食・電話）の支援 子育て支援、お元気かい、ふれあい広場	平成12年4月1日から活動

1. 上記はボランティアセンター事務局で把握している団体・個人です。漏れているところがありましたらお知らせ下さい。
2. 駐屯地自衛隊では、富良野地区の他町村でもボランティアも行っています。

# 議会の“窓”

## 上川支庁管内町村 議会議員研修会に参加



11月1日に旭川市で開催された上川支庁管内町村議会議員研修会に全議員で参加しました。

研修会では、慶応義塾大学大学院教授、前鳥取県知事片山善博氏により、「地方分権時代の自治体経営と議会の役割」、旭川市駅周辺開発担当部長後藤純児氏より「北彩都あさひかわ整備事業について」をテーマに講演を受けました。

## 富良野沿線市町村 議会議員研修会



11月22日に12名により、富良野市で開催された富良野沿線市町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

内容は、講師に陸上自衛隊上富良野駐屯地司令徳川泰久氏を迎え、「自衛隊の災害派遣について」をテーマに講演を受け、質疑応答等を行いました。

### 議会の動き

#### 【11月】

- 1日 議員協議会
- 1日 上川支庁管内町村議会議員研修会 (旭川市)
- 6日 第6回臨時会 (旭川市)
- 15日 決算特別委員会(1日目)
- 16日 決算特別委員会(2日目)
- 19日 決算特別委員会(3日目)
- 22日 富良野沿線市町村議会議員研修会 (富良野市)
- 26日 議会運営委員会
- 28日 天塩町総務文教常任委員会視察来町

#### 【12月】

- 4日 厚生文教常任委員会
- 6日 総務産建常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 議員協議会
- 13日 議会広報特別委員会
- 17日 第4回定例会(1日目)
- 18日 第4回定例会(2日目)
- 19日 議会広報特別委員会
- 26日 富良野地区環境衛生組合議会
- 【1月】
- 15日～17日 議会運営委員会先進地調査 (倶知安町・白老町)
- 18日 議会広報特別委員会
- 24日 議会広報特別委員会
- 31日 中富良野町議員会と合同研修会

### 随感随筆

年があけて寒い日が続きます。昨年の上小スクールバンド、上中吹奏楽部、陸上部の快挙に引き続き、年明け早々に上小スクールバンドの全道大会、陸上部小林 徹君の全国都道府県対抗駅伝大会出場と今年も子供たちの活躍が目が離せません。

改選後2回目の定例議会に新人議員も活発な質疑を行い、議会も活性化されてきました。これからは一層の住民と町とのパイプ役として、議会活動が大切になってきます。議会だより編集も広報委員で侃々諤々意見が飛び交い親しまれる紙面づくりに汗を流しています。

平成18年度決算も特別委員会を経て認定されました。限られた財源が効率良く執行されるように議会はチエック機能を強化しなくてはなりません。来月の議会では平成20年度予算です。厳しい予算でも知恵を出し合い良い町づくりに向け議論を重ねていきますので、多くの方の傍聴をお待ちしています。



- (金子 記)
- 委員長 岩田浩志
  - 副委員長 金子益三
  - 委員 谷 忠
  - ” 今村辰義
  - ” 和田昭彦
  - ” 佐川典子

議会を見にきてください！ 次回は3月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷  
 〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二  
 電話(076)451-6992 팩(076)451-5361